



2024.8.9 大学・大学院「恵泉サマープログラム」フェアウェルパーティー

恵泉

題字・河井道
2024年度 第3号
2024年10月25日発行

「教会のキリスト教」と「キリスト教主義学校のキリスト教」は、もちろん全く同じキリスト教なのですから、両者は強調点の置き所が違ふと思えます。牧師として教会で働くとともに幾つかのキリスト教学校に仕える中でそう思うようになりました。

教会のキリスト教は、「人はいかにして救われるか」という強調点を持っていると思えます。それに対してキリスト教主義学校のキリスト教は、「人はいかにして本来の姿に活かされるか」という強調点を持っていると思えます。両者は同じキリスト教の枠組み(創造、墮罪、救済、完成)の中で、強調点の置き所に違いがあるのです。教会は人間の罪深さを直視して「墮罪→救済」を強調し、学校

は人間のかけがえない貴さに注目して「創造→完成」を強調します。「教育基本法」第一条(教育の目的)が、「教育は、人格の完成を目指し…」と掲げている通りです。

中高の毎朝の礼拝では、生徒たちを本来の姿に活かす言葉が語られます。学校の教師は、クリスチャンであつてもなくても生徒を活かす言葉を持っていませんから、それを語って生徒に生きる原動力を与えるのが、日々の礼拝の目指すところだと思えます。

教会は、人間は罪と弱さゆえ

に良いことが分かつて「できない」存在であると強調します。一方教育現場のキリスト教は、人間が良いことを学び知つたら、神様の助けによつてそれが「できる」存在である方に強調点があります。「良いことは必ずできる」のです。(もちろん両者に両面があります。どちらをメインにしているかの違いです)そこで課題となるのは、「できる」ようにする鍵は何かです。

教会は救いを強調しますから、十字架と復活が大切です。学校は人が本当に活かされるこ

とに強調点がありますから、もちろん十字架と復活は大切です。十字架と復活だけでは足りません。十字架と復活だけでは平和は造れません。事実イエス・キリストの弟子たちは、十字架を見、復活に出会つただけでは、生きる力を得ることができませんでした。その約二ヶ月後の聖霊降臨があつて初めて、見違えるように元氣になつて、地上に神の平和を広げる働きに立ち上がったのです。キリスト教の三大祭(クリスマス、イースター、ペンテコステ)の一つペンテコステが、「人はいかにして本来の

姿に活かされるか」の答です。その時平和は実現できない理想ではなく、必ずできる理想になつたのです。

「恵泉」という校名や、「跪いて泉から水を汲む乙女」が表すイメージは、十字架や復活以上に「人はいかにして本当に活かされるか」を示していると思えます。「恵泉」という校名の由来について説明する中で河井先生が引用する聖書箇所は、ヨハネによる福音書四章一四節「わたしが与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る」です。同福音書は七章

「教会のキリスト教」と「学校のキリスト教」

学園長 廣瀬 薫

三八節で、その水が「聖霊」とあると解説します。聖書の中で聖霊は、水の流れや風や息のイメージで描かれています。

では人を生き生きと活かす原動力である聖霊の力をどのようにして受けるかが課題となります。その答が、有名な「求めなさい。そうすれば、与えられる」です。世間ではこの言葉を聖書と違う意味で使っているの注

意が必要で、一体キリストは、何を求めなさい、そうすれば何が与えられると教えたのでしょうか? ルカによる福音書

一・九章九節以下を抜粋します。

「そこで、わたしは言つておく。求めなさい。そうすれば、与えられる。…だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたかずに開かれる。…あなたがたは…自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる」。先程の問いへの答は明瞭です。これは、人を本当に活かす原動力を与える「聖霊」を、「求めなさい。そうすれば、(だれでも)与えられる」という教えなのです。だから私も毎日、「神様、今日私を本当の姿に活かす聖霊を求めますので、与えてください」と祈ります。ところで、その求め方を考える時、恵泉の校章のデザインは示唆に富んでいます。神様の恵みを求める時、跪く(謙遜な)姿勢をとることの大切さを教えていると私は受け止めています。

河井先生は、「人はいかにして本当に活かされるか」を深くご存じでした。恵泉ではそれを実現する手がかりが、礼拝や感話や校名など至る所に配置されています。毎朝の礼拝で、謙遜に恵みの泉から心を活かす水を汲み、自分を活かす力に満たされます。そして更に周りの人を活かして世界に平和を広げる泉が、「その人の内」から「わき出る」のです。そのようにして互いを活かす合図なのが「学校のキリスト教」の本質だと思つてい

ます。